

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	きらり玉島（児童発達支援）					公表日 令和7年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	人数に応じて、スペースを広げたり、縮小している。いくつかにブースを分け、子どもが分散して過ごせるようしている。階段は急だが職員が付き添って対応をしている。	利用児がのびのびと過ごせる空間づくりの実施。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	毎日運営できる適正配置で組んでいる。浅い職員であれば運営に支障をきたす場合もある。日によっては、場面場面で足りないと思うことがあるが、声を掛け合いながら、動ける職員が必要な場に入るようしている。	職員配置は適正である。今後も職員間で連携をして、互いに声掛けをし合い、安全に運営出来る様にする。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	現在、対応児がないため、バリアフリー対応には、なっていない。階段が急なこと、施設内の老朽化、耐震についてなど課題もある。改善も必要。	今後も利用児さんにとって分かりやすい環境づくりを実施していく。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	古い建物ではあるが、清潔に保つようにしている。毎日清掃し、環境整備を行なっている。建物自体は年季が入っているが、掃除、換気、環境整備など職員全体で意識して行なうようにしている。	日々職員間で過ごしやすい、清潔な環境を設定していく。一人ひとりが心がけていき、清潔に保つ。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	クールダウンの際や大人と落ち着いて関わることが出来るようなスペースを必要に応じて使用している。ゆったりエリアがあり、クールダウンできる場所がある。	引き続き、個別エリアの活用や利用児さんの意思を尊重していき、エリアを使用出来る様にしていく。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎回、職員間で支援について振り返り、次に活かすことを大事にしている。毎日、終礼をし、子どもの課題などを共有している。職員間面談や利用児の振り返り時間を設けていき、職員からの意見を収集して業務改善に努めている。	全職員が日々終礼記録に目を通して、統一した支援が出来るように心がける。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年アンケートを実施して、保護者からの意見を確認している。それを職員間で共有していき、次に活かしている。	引き続き実施していく。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎日の朝礼、終礼の時間の活用。毎日終礼にて利用児について周知したり、発言したりする事が出来ている。	引き続き実施していく。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	数年に一度、実地指導、第三者評価をしている。	頂いた評価を職員間で共有して業務改善に繋げていく。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	法人内、事業所内での定期的な研修の実施。自身の学びを職員へ共有している。研修後には、復命書を記入し他職員に内容を伝えるようにしている。法人外の研修では、自分が学びたい内容を選び、研修に出ている。研修の内容は職員間で共有して、日々の中で活かしている。	引き続き、各職員が学べる場を設定する。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	職員間で事業所の支援プログラムを公表・確認している。法人のホームページにも支援プログラムは掲載される。	各職員間で支援プログラムについて共有して内容について周知をしていく。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	定期的にアセスメントを行なっている。保護者から、子どもの要望を聞き取り、職員間で子供の姿を共有し、必要な支援をみんなで検討している。アセスメントシートや要望書等を用いながら支援計画書を作成している。	引き続き実施していく。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	意見を出し合いながら検討しています。責任者だけではなく子どもと関わっている職員も作成している。きらりでの普段の様子や家庭や園の様子を踏まえて検討		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	職員間で課題、ねらいを共有して、それぞれの職員が関わるようにしている。ケアコラボで各職員が共有できる様にしている。	チームで支援出来るように、個別支援計画書を職員間で共有してねらいを持ち関わる様にしたい。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	フォーマルなアセスメントとして、太田ステージを使用している。年齢が大きくなってからの物は、専門機関のものを参考にしている。適宜職員間で共有確認している。アセスメントシートなどを使用している。	引き続き実施していく。	

適切な支援の提供	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	1人ずつガイドラインの沿った5領域を網羅できるプラン作成をしている。 左記のものを個別支援計画を作成する際に取り込んでいる。	引き続き実施していく。
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	要望書と現在の様子を踏まえて、職員間で検討をしている。 終礼での話をもとに設定したり、行き詰まつたら上司に相談したりしている。	引き続き実施していく。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	毎回、利用児のグループの課題に応じた活動を検討している。 その時に合わせてプログラムを作成しています 日々調べながら新しい活動を取り入れるよう期している。	引き続き実施していく。
	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	一人ひとりに合わせて支援しています 一対一のお勉強と小集団の集まりを実施している。	今後も個別課題だけではなく、小集団活動も取り入れてそれぞれの場での姿を把握していく。
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼にて、必要事項を周知している。 毎朝、朝礼を実施し、また朝礼記録でその日の業務を把握しています その日の役割分担を確認して、チームの連携を図っている。	引き続き実施していく。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼にて、気づきを共有している。 毎日終礼を行うようにしたり、終礼記録をとるようにしています	今後も日々の振り返りを実施していく、気づきを次の支援に活かしていく。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	ケアコラボを通して、その日に行われた支援内容の記録をとっている。 毎日連絡帳を記入している。	引き続き実施していく。
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	終礼にて1人1人の支援計画書の項目に沿った内容を確認している。 必要に応じて、個別支援計画の見直し、修正を行っている。	引き続き実施していく。
	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	管理者・児童発達支援管理責任者が参加している。	引き続き実施していく。
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて、地域の園へ訪問を実施し、子供の様子を共有している。	地域の中での関係機関の繋がりを強化していくたい。
関係機関や保護者との連携	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	子どもの姿や関わり方などの共有を行なっている。 園訪問に行き情報共有を実施している。 就学、就園に向けた移行支援も適宜実施をしている。	今後も所属園・校とのつながりを持ちながら、3者（家族、事業所、所属園）での共有を密にしていくたい。
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	引き継ぎを実施している。書面で情報を記載している。 情報共有を行なっています状況表を作成し、必要に応じて引き継ぎなどを行っている。昨年度まで実施していた。今年度はこれから実施する予定。	今後も丁寧な引き継ぎを実施していく、支援を引き継いでいくたい。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)			児童発達支援センターが主催する研修に参加している。 ペアトレ、勉強会等はセンターが主体で実施している。	地域のセンターとのつながりをもつ機会を設定していく、支援、研修等についても一緒に足並みを揃えて考えていきたい。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	第二保育園との交流を実施。 特に未就園児は地域の園と交流する機会を設けている。	次年度以降も、地域の保育園との交流を実施していく、仲間づくりを設定していくたい。
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	引き継ぎの際や懇談などで子どもの様子を伝え合っている。 月に一回は家族見学週間を実施している。 意識しているつもりだが、満足していただけているかは	引き続き実施していく。
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	ペアトレなどの研修できる機会を定期的に実施している。 ペアレン特トレーニング、座談会、サポートブックを書く会を実施している。	引き続き実施していく。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	年度初めに実施をして丁寧に説明している。 引き継ぎや懇談などで行なっています 懇談、説明会などを実施している。	引き続き実施していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	利用児さんの将来を踏まえた上で支援計画書を立案するように努めている。	引き続き実施していく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	保護者に説明してから同意を得ています。 説明時には書面で一緒に確認をして1つずつの項目について説明をしている。	引き続き、ご家族の方へ丁寧な説明を行う。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	引き継ぎ時や懇談など、必要に応じて支援を行っています 必要に応じて懇談を実施し、保護者と話をする機会を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	保護者同士で交流する機会を設けています 茶話会などを実施している。 定期的には出来てはいないが、年に4~5回程茶話会、勉強会等を実施して保護者同士の交流の場を設定している。	次年度以降は、母親だけではなく、父親、きょうだい児といった家族を支援する体制作りを実施していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	できる限り早めに対応するようにはしている。 引き継ぎ時に相談等があれば、職員間で共有して対応している。	引き続き実施していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ケアコラボや通信などで適宜発信しています SNSで活動内容を定期的に発信するようにしている。 インスタやホームページにて取り組んだ活動などを載せている。	引き続き実施していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	写真掲載の許可をとったり、引き継ぎの際周りに配慮したりしていますが、引き続き気をつけていきたいです Instagramなどに掲載する際は同意を得ている。背景の確認をしている。	引き続き実施していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	単独ではなく法人全体の取り組みとして実施している ボランティアの方がきてくださっている。 地域の行事に参加はしていない為、今後地域の中のことにも足を踏み入れて参加していきたい。	地域で取り組まれていることを知るきっかけ作りをまずは実施したい。そこから、地域の中での行事等に参加出来るきっかけを作りたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	毎月1回、災害を想定した訓練の実施。定期的に訓練を行なっています。	引き続き災害を想定した訓練を実施していく、職員がそれぞれスムーズに動ける体制を作っていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	定期的に色々な災害を想定して訓練を実施しています 災害に備えて様々なことを想定して実施をしており、各回で役割を変えている。振り返りも実施している。	引き続き実施をする。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	契約時に確認している。 書面で事前に確認をしており、発作等がある方は事前に紙面で必要事項を記載してもらっている。	引き続き実施をする。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	現在、該当児はないが、マニュアルに準じて行うよう規定されている。契約時に確認を行い、職員間で共有している。 入所時にアレルギーなどの状況は紙面を通して聞き取	引き続き実施をする。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全計画は作成している。 必要な訓練は月1回実施をしている。	引き続き実施をする。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	定期的に行っている。大きな災害が他の地域で起きた時にも行っている。	引き続き実施をする。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	データで共有している。 ヒヤリに要因と対策を記入して、職員で共有している。 終礼でその日の気づきや、事故報告を共有し、対策。検討している。	ヒヤリ、事故等を職員間で原因、対策を検討していく、全体で引き続き共有していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	毎年、虐待防止の研修を全職員が受けている。 年に一回虐待について研修がある。 研修を実施して職員の日頃の支援觀を振り返る等実施している。	引き続き実施する。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2	契約時に確認している。 書面で事前に保護者に説明を実施して、了解を得ている。	契約時には保護者に丁寧な説明をしている。 職員へもどんな内容を説明しているかも含めて共有していく必要がある。